



松柏小学校 学校便り

R7. 7. 8 (火)

えがなかちゃん

No. 9

—笑顔・なかま・チャレンジ—

校長 加地孝昌

学年別懇談会お世話になりました！



7月4日(金)に開催した学年別懇談会へのご出席ありがとうございました。各学年で夏休み行事についての話し合いの後、いじめ問題、障がい者差別問題、「あっていい違い？あってはいけない違い？」、SNS上のトラブルの問題、同和問題など様々な人権課題に関してワークショップ形式やグループ別での話し合いをしていただきました。互いの意見を尊重しながら、熱心に意見交換をしていただき、実りある研修となりました。

子どもたちの学習においても話し合うことで意見が深まることがよくあります。例えば2年生が町探検に行った後、「仕事って大変だなあ」と感想欄に書いていた子が、班の友達と話し合った後に、「仕事って大変だけど、人の役に立つのが仕事なんだなあ」とより深い意見に変わっていることがあります。この意見の変容こそが、学校教育の意義であり、学習指導要領が目指す「**深い学び**」であると言えます。

保護者の皆様も、様々な意見を聞き、「深い学び」をされたと思います。今後も、保護者の皆様とともに学習を深めていきながら、人権を大切にする学校づくり、地域づくりを進めてまいりたいと思います。よろしくお願いします。



活発な意見交換をしています。話し合うことで、新たな気づきや発見があります。



自分の意見を発表する中で、堂々と意見が言える力が身に付いています。

着衣水泳をしました 一命を守るためー

消防署の方にご協力をいただき、7月8日（火）の2～3時間目に、5・6年生が着衣水泳を行いました。冬の体操服でプールに入り、服が濡れた状態ではいかに泳ぎにくいのか、また、命を守る方法として、脱力して水に浮く方法やペットボトルを活用する方法を学びました。**体験は何よりの学びです。**今日の学びを生かし、万が一の場合は、命を守る行動へとつなげてください。



服を着たままの泳ぎ。「重たいー」「泳げん」などの声がたくさん聞こえました。



慣れれば、この通り。プーカプカと浮いていました。脱力がポイントです。

安全・安心な環境を目指して



市教育委員会や地域の方の協力を得て、安全・安心な学校の環境が整ってきています。

①は、点滅信号の門の場所。赤色のゴムのポールから、金属製の頑丈で太い黄色のポールに代わりました。万が一、車が信号待ちをしている児童の方向に来たとしても子どもたちを守ってくれます。

②は、児童玄関から運動場に降りる階段です。雨が降って足元が滑りやすくなっても大丈夫なように、新たに手すりを設置してくれました。

③は、北門。大きな木が茂っており、防犯上、良くないということで、地域の方がボランティアで木を刈ってくれました。スッキリと見通しが良くなりました。

また、体育館と北校舎の間にあった木道が、古くて修理をしても、次々といろいろな場所に穴が開くような危ない状態でしたが、ケガの未然防止のために撤去をしていただきました。

多くの方々のご協力を得て、学校全体が、安全・安心な環境へと整ってきています。ありがたいことです。1学期も残り2週間です。「事故0 ケガ0 笑顔100」となるよう努めてまいります。